

楠見の街の上に

危険なメガソーラー計画が!!



洪水の不安
抱えて
暮らしたく
ないわ!!



和歌山市楠見地区に今、メガソーラー(巨大太陽光発電)の計画が持ち上がっています。

和歌山市奥楠見花木団地(平井から善明寺にかけての地域)に面積約66万平方メートル、出力3万8500キロワットという巨大な規模のものです。

事業者はすでに県の条例に基づく説明会、市の条例に基づく説明会を終え(私たちは納得していませんが、一方的に打ち切った)、今年の9月に着工しようとしています。

**4つの谷を埋めて盛土
盛土は崩壊し、土砂崩れ、
河川の氾濫、大洪水の恐れ**



**甲子園球場17個分の広さに
12万7000枚の太陽電池パネル**

甲子園球場17個分に匹敵する66ヘクタールの森林を開発(うち33ヘクタールを造成)、12万7000枚の太陽電池パネルを設置するという計画です。本来エコな再生可能エネルギーの太陽光発電。しかし、こんな自然を破壊する計画では災害が心配です。

楠見地区のメガソーラー(巨大太陽光発電)を考える会 連絡先 西川徹 (073-452-6967)